

令和3年度 たつの市商工会「経営発達支援計画」事業評価報告書

事業評価委員会開催日：令和4年4月28日（木）

| 指針別項目・事業 | | 数値目標 | 実施結果 | 委員長評価 | 事業補足説明及び委員コメント(抜粋) |
|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------|----------------|------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| I. 経営発達支援事業の内容 | | | | | |
| 1. 経済動向調査に関すること | | 令和3年度 目標 実績 | | A | 【補足説明】令和2年度より調査対象事業所を50社以上に増やし、たつの市事業所のDI値の精度向上を図っている。 【コメント】目標を達成されており、調査対象件数も増加していることから、十分な実績が確認出来る。 |
| 経済を取り巻く環境の他、地域の経済動向に関する情報を定期的に提供することで事業計画の策定など経営の発達に役立てる。 | 分析回数 | 4 | 4 | | |
| | ウェブページによる分析結果の公開 | 4 | 4 | | |
| | 会報等による調査結果の提供回数 | 4 | 4 | | |
| 2. 経営状況の分析に関すること | | 令和3年度 目標 実績 | | B | 【補足説明】小規模事業者持続化補助金については一巡した感があり、ここ数年と比較して申請者では低調であったが、新たに事業再構築補助金、新事業展開応援事業費補助金の公募があり、コロナ禍による社会活動や生活様式の変化などに対応する新たな取り組みを目指す補助金の申請を行った。創業については、たつの市、兵庫県の創業補助金の申請を5件(うち採択2件)行い、それに伴う創業計画書の作成を支援した。資金繰りの相談は一段落し、マル経推薦に伴う経営分析件数は前年と同数であった。 【コメント】小規模事業者持続化補助金については、令和4年度から類型が大きく変更され、創業枠が新たに設けられた。一方、ひょうご産業活性化センターの起業家支援事業は倍率が高くなる可能性がある為、小規模事業者持続化補助金が「創業支援の代替手段」と成り得る。その為、今後は小規模事業者持続化補助金へのニーズが再度高まる可能性があり、他の商工会も創業枠を活用している為、参考にして頂きたい。 |
| 小規模事業者の経営実態の把握及び経営資源や強み等の分析を行うことにより、効果的な事業計画の策定支援につなげる。 | 巡回相談件数 | 250 | 202 | | |
| | 窓口相談件数 | 150 | 111 | | |
| | セミナー開催回数 | 3 | 4 | | |
| | セミナー参加事業者数 | 45 | 38 | | |
| | 経営分析件数 | 35 | 40 | | |
| 3. 事業計画策定支援に関すること | | 令和3年度 目標 実績 | | B | 【補足説明】前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止の観点から、事業計画作成、事業承継については、個別相談会の形式で実施した。創業・第2創業セミナーについては、感染防止対策を施しながら、セミナー形式で実施した。経営計画作成個別相談会では、新型コロナウイルス感染症による需要の停滞からの脱却のための新たな取り組みや、新事業展開の相談、職場改善に関する相談があった。創業・第2創業セミナーでは、美容関係や、情報、飲食関係など多様な創業予定者が参加した。販路開拓については、IT活用の講義を追加した。事業承継個別相談会では、事業承継を契機とした新たな事業展開を目指す計画策定の相談や、事業を承継するため具体的な事務手続きの相談があった。 【コメント】事業承継セミナーについては、令和2年度に引き続き、参加者を集めることに苦慮されている。一方、毎年4月末頃を締切として、兵庫県事業継続支援事業(兵庫県版事業承継補助金)が公募されており、令和4年度は太子町商工会でも申請があった。その為、事業承継セミナー開催時には、兵庫県事業継続支援事業の制度や採択事例を説明することで、集客に繋げて頂きたい。 |
| 小規模事業者の経営課題を解決するために伴走型の指導・助言を行い、事業計画の策定支援を実施する。 | 事業計画作成セミナー(開催回数) | 1 | 2 | | |
| | 参加事業所数 | 25 | 16 | | |
| | 事業計画策定件数 | 20 | 12 | | |
| | 経営革新計画策定件数 | 3 | 0 | | |
| | 創業・第2創業セミナー(開催回数) | 1 | 1 | | |
| | 参加事業所数 | 10 | 18 | | |
| | 創業等計画策定件数 | 5 | 15 | | |
| | 事業承継セミナー(開催回数) | 1 | 1 | | |
| | 参加事業所数 | 10 | 4 | | |
| | 事業承継計画策定件数 | 5 | 2 | | |
| 販路開拓計画策定件数 | 2 | 15 | | | |
| 4. 事業計画策定後の実施支援に関すること | | 令和3年度 目標 実績 | | B | 【補足説明】各補助金申請時に作成した事業計画書の遂行につき、伴走して支援した。必要に応じて事業計画に修正を加え、次の展開についてのアドバイスを行った。下記項目以外についても、全会員への巡回時に要望のあった個別事項につき、フォローアップを行った。専門家派遣は、13事業所に対し、計26回実施した。 【コメント】経営革新計画策定事業所フォローアップについては、会員事業所の承認事業所を対象に実施可能である。同時に、定期的なフォローアップの為には、新たに承認を目指す企業が必要である為、経営革新については年間の目標件数の達成に努めて頂きたい。 |
| 小規模事業者が立案した事業計画について、必要に応じて専門家や他の支援機関と連携を図り課題解決に努め、計画推進達成のための経営支援を行う。 | 事業計画策定事業所フォローアップ数 | 20 | 29 | | |
| | 経営革新計画策定事業所フォローアップ数 | 3 | 0 | | |
| | 事業承継計画策定事業所フォローアップ数 | 5 | 4 | | |
| | 創業等計画策定事業所フォローアップ数 | 5 | 5 | | |
| | 販路開拓計画策定事業所フォローアップ数 | 2 | 14 | | |
| 5. 需要動向調査に関すること | | 令和3年度 目標 実績 | | A | 【補足説明】当初の計画では、令和2、3年度については、御津町新舞子沿岸地域の観光、サービス業者の需要動向につき調査及び情報の提供を実施する予定であったが、令和2年3月以降新型コロナウイルス感染症の影響拡大を考慮し、全会員の経営状況の把握とサポートの必要性が高まったため、全会員巡回による「会員アンケート」を実施した。巡回時には、新型コロナウイルス感染症対策の市、県、国の助成制度や、緊急融資制度の周知を行い、各申請のサポートを行った。 【コメント】十分な実績が確認できる為、引き続き取り組んで頂きたい。 |
| 小規模事業者が取り扱う商品や製品及びサービスにかかる需要の動向に関する情報・ニーズ等を個社毎に調査・分析し提供することで、事業計画の策定や新商品の開発に活かす。 | 全会員アンケート調査 | | | | |
| | 支援する個社数 | 8 | 725 | | |
| | 全会員を巡回してアンケートを実施 | 100 | 309 | | |
| 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること | | 令和3年度 目標 実績 | | C | 【補足説明】令和3年度についても、前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により各物産展が軒並み中止となり、参加できなかった。 【コメント】コロナ禍で展示会等が開催できない場合は、代替手段が取れないかを一度検討して頂きたい。具体的には、福崎町商工会では展示会に替えて、「共同記者発表事業」を自前で開催し、神戸新聞にも取り上げられた。その結果、商談成立や売上増加に繋がっているため、参考にして頂きたい。 |
| 商談会、展示会などの商談機会の情報を提供するとともに、商談の成立確立を高める体制を整える。併せてネット販売などITを活用した販路開拓支援を行う。 | 商談会、展示会等への出展支援者数(BtoB) | 4 | 0 | | |
| | 商談成立件数 | 4 | 0 | | |
| | 売上増加事業所数 | 4 | 0 | | |
| | 物産展における出展支援者数(BtoC) | 目標 | 実績 | | |
| | 売上金(1社当たり) | 10万円 | 0万円 | | |
| | IT活用セミナー(BtoC) | 目標 | 実績 | | |
| ITセミナー開催回数 | 1 | 2 | | | |
| 参加事業所数 | 20 | 36 | | | |
| II. 地域経済の活性化に資する取り組み | | | | | |
| 1. 地域資源を活用した地域活性化事業 | | 令和3年度 目標 実績 | | B | 【補足説明】平成29年度から取り組んだ、エイ、大根を使用した特産品の開発は、それぞれ完成した商品につき会員事業所からの販売が開始され、一定の成果を上げている。令和3年度以降は、会員事業所に承継されたそれぞれの商品の販路拡大につき、個別に支援しており、商工会として新たな商品の開発は行っていない。 【コメント】試作品の作成と商品化は未達だが、コロナ禍で道の駅には県内外からの来店客が多い為、販路開拓に繋がっている。ラディッシュエールpremiumは、やや高めの価格設定だが、味も見た目も大幅に改良されており、特産品としてPRして頂きたい。 |
| 地域独自の特産品を開発することで地域の活性化を支援する。 | 試作品の作成 | 2 | 0 | | |
| | 試作品の商品化 | 1 | 0 | | |
| | 販路開拓支援 | 4 | 4 | | |
| | | | | | |
| 2. 地域イベントを活用した地域活性化事業 | | 令和3年度 目標 実績 | | C | 【補足説明】地域資源を活用した特産品の調査及び販路開拓、地元住民の交流の場の創出や地域の商工業者が市内外に積極的にPRする広報支援策として、地域活性化事業として「たつの市商工業まつり」を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、令和2年度に引き続き中止となった。 【コメント】新型コロナウイルスの影響により、中止になったことは止むを得ない。毎年、工夫を凝らしたイベントを開催されている為、コロナ禍が終息した際には、是非とも再開して頂きたい。 |
| イベントを通して商工業、観光事業の支援に結び付ける。 | たつの市商工業まつり | 目標 | 実績 | | |
| | 開催回数 | 1 | 中止 | | |
| | 出展者数 | 45 | - | | |
| | 来場者数 | 6,000 | - | | |
| | 開発特産品の出品数 | 6 | - | | |
| III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み | | | | | |
| 1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること | | | | A | |
| 2. 経営指導員等の資質向上に関すること | | | | A | |
| 3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること(委員長による総括評価) | | | | B | |

委員：中小企業診断士・荒木慎吾氏(委員長) / たつの市産業部商工振興課 安積徹氏 / 日本政策金融公庫姫路支店長 久保幸一氏 / 播州信用金庫揖保川支店長 小倉俊哉氏